



岩手競馬のアイドルホース「トレジャースマイル」惜しまれつつ引退

額に輝くハート型の流星で話題を呼んだ元祖“ハートのアイドル”トレジャースマイル（牝5歳・村上昌幸厩舎）が引退を発表しました。

トレジャースマイルは父オースミタイクーン、母オンワードレベツカ（母父ソーブレッド）という血統の鹿毛の牝馬。額の流星（白斑）がきれいなハート型という事でデビュー前から注目され、2007年11月10日のデビュー戦には多くのマスコミやファンが水沢競馬場に詰めかけました。

岩手競馬ではこのトレジャースマイルのハートマークにあやかって様々なイベントを実施しました。例えば「ハート型のアクセサリを付けていれば入場無料」「トレジャースマイルの単勝馬券に記念のハート型スタンプを」などが行われたほか、缶バッジやクリアファイル、ぬいぐるみなどグッズも多数登場。

2008年4月には競馬開幕にあわせ水沢競馬場の南広場に宝（トレジャー）神社を開設。ファンからの応援メッセージ、絵馬などが奉納され、水沢競馬場の新名所となりました。

また同年の岩手競馬CMキャラクター・東幹久さんと共に、TV番組やポスターなどにも度々登場もしました。

（写真右・東幹久さん、村上昌幸調教師とスリーショット 「遠野馬の里」にて）



さて、そのデビュー戦では5着、続く2戦目、翌シーズンの初戦の3戦目は共に4着と健闘、初勝利も間近と思われましたが、結局07年そして08年シーズンは未勝利で終了。しかしこの間に陣営は「距離が短いほど好走の可能性が高い」という手応えを掴み、翌09年シーズン、1200mの盛岡戦に焦点を絞って調整を進めます。

そして迎えた2009年5月31日、盛岡3R・ダート1200m戦。前走であわやの2着に粘った勢いも駆って一世一代の逃げを打つトレジャースマイル。この作戦が見事に決まり、4コーナーからは後続を引き離す一方の7馬身差で圧勝。デビュー18戦目にして待望の初勝利を挙げる事ができました（当時の初勝利を伝えるニュース）。

初勝利の後は5戦連続で入着を果たすなどいよいよ本格化か・・・と期待がかかったものの、しかし、夏に調子を落とした後はスランプに。今シーズンも2度の入着があったものの苦しい戦いが続き、脚部不安もあってこれ以上現役を続けるのは酷だろうという事で、厩舎・オーナーが相談のうえで引退が決断されました。

足掛け4年間の通算成績は40戦1勝2着4回。引退後は乗用馬に転向し、群馬県馬事公苑で乗馬技術を身につけることになるとのこと。岩手競馬のアイドルホースとして愛され続けてきたトレジャースマイルの新しい船出にエールを送りましょう。

■トレジャースマイル オーナー・川原崇弘さんのコメント

「ずっとトレジャースマイルを応援してくださって本当にありがとうございました。来年も現役続行を考えていましたが、これ以上走らせるのは可哀想だろうと村上昌幸調教師と話し合い、引退させることを決めました。

トレジャースマイルは自分にとっても非常に大事な馬でしたので、余生もいい環境で送らせたいというろと働きかけた結果、群馬にある馬事公苑が快く引き受けてくれました。これまで可愛がってくれたことを感謝するとともに、今後もトレジャースマイルをよろしく願います」

| [News・おしらせ一覧に戻る](#) | [このページを閉じる](#) |



Copyright©2016 IWATE KEN KEIBA KUMIAI All Right Reserved

がんばろう東北
心をひとつに  **岩手競馬**